



ファシリテーター・タイムキーパー虎の巻

「はなしあいシート step1」を活用して幼保こ小で対話をしましょう！

- * 「対話」は幼保こ園と小学校の参加者が混ざった4～5人のグループで行います。(時間の目安 40 分程度)
- * ファシリテーターとタイムキーパーを決めましょう。

複数グループがある場合は、グループごとにファシリテーターとタイムキーパーを決めましょう。



ファシリテーター

参加者から意見を引き出し、議論を円滑に進め、より良い結論に導く役



タイムキーパー

話し合いの時間の経過を知らせる役

アイスブレイクは、小学校の先生にお願いしてもいいですね。

- * 話し合いを始める前に、「アイスブレイク(※参照)」も兼ねて自己紹介をしましょう。(一人1分)

(1)誕生日 (2)出身地 (3)この職業を選んだ理由…など。

※「アイスブレイク」…初対面の人同士が出会うとき、その緊張をときほぐすための手法。



話し合いを始めましょう



ファシリテーター

まずは①について。最近見た子どもの姿から、思い浮かんだ場面を()色のふせんにひとこと書いてみましょう。
ふせん1枚につき、場面は一つ。一人2枚書いて、自分のシートの①のところに置きましょう。【1分】



タイムキーパー

1分たちました



ファシリテーター

次に、②について。①で書いたことはどんな環境や先生の援助や支援があったからだと思うか、そのキーワードを()色のふせんに書きましょう。キーワードは、例えば、「子どもの興味関心」とか、「時間や場の確保」など、ひとことで簡単に書いてください。キーワードもふせん1枚につき一つだけ書いてください。こちらは思いつくだけ何枚書いてもいいです。書いたらシートの②のところに置きましょう。【2分】



タイムキーパー

2分たちました

ファシリテーター

では、①のふせんを台紙(模造紙)に貼りながら、そのエピソードを簡単に紹介していきましょう。

最初に〇〇先生(指名する)からお願いします。

〇〇先生

ここからの対話はファシリテーターが先導します。

はい。(エピソードを話す)

その姿、素敵ですね！
うちの園では…



タイムキーパー

20分経過したら伝えよう

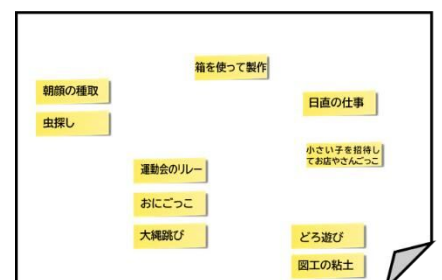


ファシリテーター

最初の方がエピソードを話したら…

今のエピソードと同じようなエピソードの人はいますか。いたら、お話しをお願いします。では、次の方をお願いします。

全員ふせんを貼りエピソードを話す。





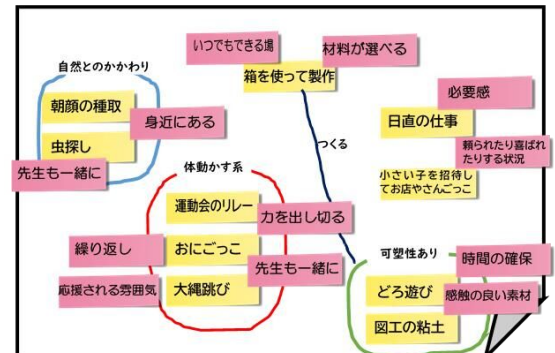
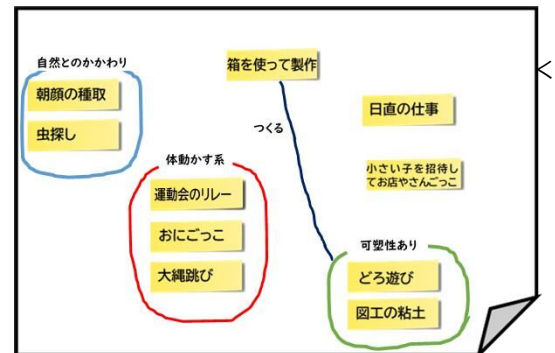
カテゴリーごとに色ペンで囲ってタイトルをつけてみましょう。
ほかにも、気付いたことやそれぞれのつながりを書き込んでもいいですね。



これらの子どもの姿はどのような環境や先生の援助や支援があったから見られたと思うか、お互いに話したり聞いたりしながら、②で書いたふせんを貼っていきましょう。



小学校と幼児教育施設とで、共通点や大事にしたい工夫、考え方などがありますか？
新しいキーワードがあればふせんを足したり、台紙に直接書き込んだりしてもいいですよ。



※書き込みやふせんの貼り替えはグループの人に投げかけて、みんなで進めるようにしましょう



そろそろ20分になります



それでは、今日の話し合いを振り返って、シートに感想や学んだことを書きましょう。 【3分】



3分たちました



せっかくなので、皆さんが書いたものを見合しましょう。

ファシリテーター

今日は、対話を通してお互いのことを知ることができました。
これからも、施設の種別を超えて子どもたちの学びと育ちを支えられるように話し合いを進めていけるといいですね。これでグループの話し合いを終わります。
ありがとうございました。

このような感じで、たくさんの意見や感想を引き出し、お互いの距離が近くなるといいですね！

話し合いの留意点

「架け橋プログラム」は、小学校教育を前倒しすることではありません。
「入学までにこれだけはできるようにしてほしい(したい)」という話題にならないように注意が必要です。

